夕刊 臺灣日日新報 (第二號) (朝日併一昨五月九日第三種郵便物認可) 昭和十七年八月四日 (火曜日) 第一万五千二百三十五號 (一)

金華の西方一路南下
北界鎮攻略新路灣進出

【浙江○○基地三日發同盟】二十九日拂曉金華西方○○より突如新鋭○○部隊は連日の酷暑を克服しつつ仙霞嶺、楓嶺山系の谿谷地帯を驀進して一路南下三十粁午後三時には早くもその先遣部隊は龍游南方約四十粁の北界鎮を攻略し引裂き敗敵を猛追同日夕刻には北界鎮南方約八粁の新路灣に進出し所在の敵を撃破しつつ南下進撃中である

更に松陽へ進撃
長門、龍泉、零陵に巨彈
福建、浙江、湖南方面痛爆

【ベルリン二日發同盟】ドネン・ボック元帥閣下の司令部よりストプバター將軍とスターリングラードクラスノダール戦線に於ける戦況に關し次の如き報告を發した

【ベルリン二日發同盟】ドネン・ボック元帥閣下の司令部よりストプバター將軍とスターリングラードクラスノダール戦線に於ける戦況に關し次の如き報告を發した

赤軍領土死守強調
ス首相自ら陣頭に立つ

第二戦線結成問題
ソ聯の態度は硬化

不服從運動展開へ
會議派首腦ガンヂー翁會見

武漢の舊法幣回收
我軍布告 積極的物價抑制

モレスビー等を急襲
北ニューカサス激戦

大東亞經濟新建設と臺灣
語る東亞經濟懇談會內地側出席者

岸本綾夫大將
東京市長に當選

比島增稅を實施

南方への基地活用
山住大藏省理財局長談

工業臺灣に期待
市原郵船常務取締役談

鋼の增産に期待
鐵山統制會瘡藤理事談

豐富な電源活用
南洋栽培協會清水主事談

立地條件を檢討
鐵鐵統制會逸理事談

會議派一笑に附さん
サプルーの妥協的提案

酵素力こそ生命の根本
イーストの鍵は病弱體を解放す

アイデアルカラー 東京・大阪 三星セルロイド株式會社

決戦 本號は戰況特許の特殊事項に關し陸軍報道部の檢閲を經過し、又新聞紙法第廿七條の揭載禁止事項を除き、其の他の記事は全部自由に掲載した 發行所 東京都麹町區有樂町一ノ一 朝日新聞社

ソベルキール 村松商行 東京都中央區銀座西五ノ三 電話京橋(56)二四〇番

オリザニン 疲勞恢復に 本邦唯一の學士院賞に輝くビタミンB劑 三共 SANKYO 醫療藥品 三共株式會社 東京・日本橋・室町

夏負けうよぬせけ バリバ 滋養強壯劑 ビタミンB1 ビタミンC 含有 ビタミンB1 ビタミンC 含有 ビタミンB1 ビタミンC 含有

不毛の僻地に描く海の勇士共榮風景

チ島建設に逞しい努力

チヤール設ターベンにはおよそ植物らしいものは一本もなく「椰子」と「蜥蜴」と「蛇」——これだけしか住んでいない不毛の地だ——この島に日本人の手で大規模な椰子園を建設しようというのだから、はじめは誰もが「無茶な」と思ったに違いない

治療費代りに椰子

チヤール設ターベンにはおよそ植物らしいものは一本もなく「椰子」と「蜥蜴」と「蛇」——これだけしか住んでいない不毛の地だ——この島に日本人の手で大規模な椰子園を建設しようというのだから、はじめは誰もが「無茶な」と思ったに違いない

草木

草木一本生えないこの島に椰子を植えるには、まず土壌の改良から始めなければならない。椰子の実を植えつけるためには、まず穴を掘らなければならないが、この穴を掘るのにも大変な苦労がある。穴を掘るにはツルハシを使うのだが、ツルハシの先がコンクリートのように固い珊瑚礁の岩盤にぶつかるとカーンと跳ね返されてしまう。この岩盤を砕くのにダイナマイトを使うのだが、ダイナマイトの使用量は一穴について一本半から二本位の割合である。

皮肉

珊瑚礁の岩盤を砕いて穴を掘ったところで、そこに植えた椰子の苗木がすぐ育つというわけにはいかない。椰子の苗木は、まず苗床に植えて育てなければならないが、この苗床にするためにも、土壌の改良をしなければならない。

種蒔く喜び

ユーカリとミツバ草を植えたのは、椰子の苗木を植えてから三年目のことだった。椰子の苗木を植えてから三年目に初めて実を結ぶのだから、ユーカリとミツバ草

臺灣日日新報 第一万五千二百三十五號 (一)
(昭和一年五月九日第三種郵便物認可) (一)

臺灣日日新報

日本唯一夕刊六頁
電話 AIT代表
臺北市ヲ中心トシ全島ニ亘ル一般ニ最モ速カニ最モ正確ニ最モ興味アル記事ヲ掲ケ
○一般ニ公正ナル立場ヲ持シ常ニ社會ノ木鐸タラン事ヲ期ス
○一般ニ有益ナル廣告ヲ歡迎シ讀者ニ不利ナル廣告ハ之ヲ謝絶ス
○一般ニ有益ナル投書ヲ歡迎シ之ヲ採用ス
○一般ニ有益ナル讀者ノ質問ニ應ジ之ヲ解答ス

比島人にメッセージ
精神的革命促す
本間最高指揮官手交

【マニラ三日發同盟】本間比島方面軍最高指揮官は四日午後比島人に與ふと題する左の如きメッセージを發表した、その内容は比島人の精神革命を促がすものであるとの觀測が有力である、尚本間中將は四日午後一時より軍政監部に於て比島人に對する重要なる聲明を發表すると共に同メッセージの要旨を放送する筈である、メッセージ全文次の如し

東條首相 けふ靖國參拜

【東京發同盟】東條首相は四日午後一時半靖國神社に參拜し、次いで午後二時半より陸軍省に於て開催された陸軍始觀兵式に參列した

比島人に與ふ

一、大東亞共榮圏の現段階に於ては大東亞民族をして八紘一宇の精神の下に眞實の大東亞人の眞價を發揮せしめんとするが如きは實に大東亞戰爭の最大なる目標である、その目標を達成するの道は各民族が眞に日本を中心として一體となり相互に其の自主性を尊重すると共に協力して大東亞の建設に邁進することにあるのであつて、日本は大東亞の指導者として大東亞の興隆の爲に絶大なる犧牲を拂つてゐるのである、比島人諸君は日本の眞意を理解し、日本と一體となつて大東亞の建設に協力すべきである

二、日本が過去十數年間に亘つて米英に對し屢次に亘り自重し來れる所以のものは米英國民がその眞の姿から正義の發現への轉向を待ちたかつたからに外ならない、然るに米英國はその非を悟らず正義に立脚せんとするの誠意を全然認めず、却つて日本の誠意を侮辱して益々東亞侵略の野望を逞しうしたために米英の東亞侵略の根源を斷ち大東亞の安定を確保するの已むを得ざるに至つたのである、かゝる日本の眞意を認識し米英の東亞侵略の野望を粉碎して大東亞の興隆に協力することは日本に對する最大の報恩であつて、若し諸君の間に比島の獨立を急ぐの餘り日本の有する所の米英特有の侵略的本質を看過し米英の一部であるが如き誤つた觀念を抱くものがあるならば、それは日本の眞意を理解しないものであつて、日本が比島の獨立を急ぐ所以は比島人をして米英の桎梏より脫せしめ、眞の自由と幸福とを與へんとするにあるのであつて、比島人諸君は日本に對し米英の一部であるが如き誤つた觀念を抱くことなく、日本を信頼し日本と協力して大東亞の建設に邁進すべきである

三、日本は比島の獨立を指導し、軍政の下に於ても比島の獨立を急ぐ所以の眞意を理解し、日本と協力して大東亞の建設に邁進すべきである

四、比島人諸君は日本の眞意を理解し、日本と協力して大東亞の建設に邁進すべきである、今日の比島人諸君は日本の眞意を理解せず、日本の軍政を以て比島の獨立を急ぐ所以

社說

東亞經濟懇談會と臺灣

興すべき工業と交通施策に期待

一

大東亞共榮圈の建設に邁進しつゝある我が國は、その共榮圈内諸地域の開發に關する諸般の施策に關聯するつゝあるの秋、東亞經濟懇談會の開催を見るに至つたことは、眞に時宜を得たものと言はねばならない。

今回の懇談會は、去る七月二十日より二十五日まで六日間に亘り、東京に於て開催されたのであるが、その間に於ける懇談會の模樣は、これを新聞紙上に見るのみであるが、その會議の空氣は、極めて眞摯且つ熱心であつたことが窺はれる。

二

今回懇談に上つた問題は、交通、電力、工業、農業、貿易、金融、財政、經濟、文化等、廣汎多岐に亘つてゐるが、これを大別すれば、(一)開發地域の經濟建設に關する件、(二)開發地域の資源開發に關する件、(三)開發地域の交通施設に關する件、(四)開發地域の貿易に關する件、(五)開發地域の金融に關する件、(六)開發地域の財政に關する件、(七)開發地域の文化に關する件、(八)其の他の件、の八項目となつたのである。

三

今回懇談に上つた問題は、いづれも大東亞共榮圈の建設に關聯して、極めて重要なものばかりであるが、中でも、交通、電力、工業、農業、貿易、金融、財政、經濟、文化等、廣汎多岐に亘つてゐるが、これを大別すれば、(一)開發地域の經濟建設に關する件、(二)開發地域の資源開發に關する件、(三)開發地域の交通施設に關する件、(四)開發地域の貿易に關する件、(五)開發地域の金融に關する件、(六)開發地域の財政に關する件、(七)開發地域の文化に關する件、(八)其の他の件、の八項目となつたのである。

四

今回懇談に上つた問題は、いづれも大東亞共榮圈の建設に關聯して、極めて重要なものばかりであるが、中でも、交通、電力、工業、農業、貿易、金融、財政、經濟、文化等、廣汎多岐に亘つてゐるが、これを大別すれば、(一)開發地域の經濟建設に關する件、(二)開發地域の資源開發に關する件、(三)開發地域の交通施設に關する件、(四)開發地域の貿易に關する件、(五)開發地域の金融に關する件、(六)開發地域の財政に關する件、(七)開發地域の文化に關する件、(八)其の他の件、の八項目となつたのである。

東亞經濟建設へ
臺灣の"協力方策"を協議
共榮圈經濟懇談會

大東亞共榮圈の建設に邁進しつゝある我が國は、その共榮圈内諸地域の開發に關する諸般の施策に關聯するつゝあるの秋、東亞經濟懇談會の開催を見るに至つたことは、眞に時宜を得たものと言はねばならない。今回の懇談會は、去る七月二十日より二十五日まで六日間に亘り、東京に於て開催されたのであるが、その間に於ける懇談會の模樣は、これを新聞紙上に見るのみであるが、その會議の空氣は、極めて眞摯且つ熱心であつたことが窺はれる。

今回懇談に上つた問題は、交通、電力、工業、農業、貿易、金融、財政、經濟、文化等、廣汎多岐に亘つてゐるが、これを大別すれば、(一)開發地域の經濟建設に關する件、(二)開發地域の資源開發に關する件、(三)開發地域の交通施設に關する件、(四)開發地域の貿易に關する件、(五)開發地域の金融に關する件、(六)開發地域の財政に關する件、(七)開發地域の文化に關する件、(八)其の他の件、の八項目となつたのである。

三重大案件を懇談
臺灣の重要性とその活用
中西懇談會常務理事談

本懇談會は今年度より新たに發足するもので、從つて今回が第一回の懇談會であるが、本懇談會は、各地一流の人物を網羅して、民間側の意嚮を充分に聽取し、これを政策樹立の參考に資せんとするもので、從來の官民懇談會とは、その趣を異にするものがある。

今回の懇談會に於ても、各地から多數の有力者が參加し、熱心に意見を開陳したが、これ等の意見は、いづれも貴重なものばかりであつて、今後の政策樹立の參考に資するところ極めて大なるものがあると思ふ。

今回の懇談會に於ける意見の中、特に注目すべきものは、臺灣の重要性とその活用に關するものであつて、これは、今後の大東亞共榮圈の建設に當つて、臺灣が日本の南方發展の基地として、如何に重要な地位を占めるかといふことを、如實に物語つてゐるものと言へよう。

日華經濟提携の要
東亞懇談會華中本部長陳氏談

東亞懇談會華中本部長陳群氏は、上海國際俱樂部ホテルに於て、同氏の歡迎を兼ねた午餐會を開いたが、その席上、同氏は、「日華經濟提携の要」と題して、次の如く語つた。

あらゆる點に於て、日華兩國は、相互に相手方に對する理解を缺いてゐるのである。日華兩國が相互に眞に理解し合ふためには、もつと多くの人々が、もつと多くの機會に、もつと多くの場所で、もつと多くの問題について、もつと多くの意見を交換しなければならないのである。

現地事情完全把握
地方懇談會の成果　鈴木企畫課長談

懇談會の成果に關しては、目下、取纏め中であるが、左記懇談會に出席の鈴木企畫課長は次の如く語つた

今度の懇談會で、現地の現情が相當具體的に判つた。隨つて從來の政策樹立の上に於ても、現地で話を聞くと生きたものとして取り出來、將來は現地事情に通じた人達を參加せしめて、現地で懇談會を開くことも必要であると思ふ。

日華經濟"臺灣懇談會"
臺灣委員會開く
けふ臺北市公會堂で

臺灣委員會は、今二日午後一時半より臺北市公會堂で開催、左記の件に關し懇談することとなつた。

一、臺灣工業化に關する件
二、臺灣工業基地の使命
三、臺灣の國防的重要性
四、臺灣の交通問題
五、臺灣の貿易問題
六、臺灣の金融問題
七、臺灣の人口問題
八、臺灣の農業問題
九、臺灣の文化問題
十、其の他

工業基地の使命大
臺灣の地位重要化
蜂谷經一郎氏談

臺灣が日本の南方發展の基地として、如何に重要な地位を占めるかといふことは、今回の懇談會に於ても、各地一流の人物を網羅して、民間側の意嚮を充分に聽取し、これを政策樹立の參考に資せんとするもので、從來の官民懇談會とは、その趣を異にするものがある。

海陸交通の中繼地
臺灣の優位性　香春大阪商船專務談

臺灣の農產物を、內地に移入するに當つては、從來は、神戶、大阪、門司、基隆、高雄、臺南、臺中、臺北、花蓮港、馬公、安平、淡水、新竹、蘇澳、澎湖島、東港、打狗、等の各港を經由して、內地に移入されてゐたのであるが、臺灣と內地との間の海上交通は、從來は、神戶、大阪、門司、基隆、高雄、臺南、臺中、臺北、花蓮港、馬公、安平、淡水、新竹、蘇澳、澎湖島、東港、打狗、等の各港を經由して、內地に移入されてゐたのであるが、臺灣と內地との間の海上交通は、從來は、神戶、大阪、門司、基隆、高雄、臺南、臺中、臺北、花蓮港、馬公、安平、淡水、新竹、蘇澳、澎湖島、東港、打狗、等の各港を經由して、內地に移入されてゐたのであるが、

重慶側の糧食問題
抗戰態勢も遂に"脆弱化"
田賦穀納に民生極度に困窮す

死活の關鍵を握る

「重慶國民政府の財政經濟の基礎は、田賦の徵收にあり」とは、重慶の財政當局者が、しばしば口にするところであるが、重慶國民政府は、自力更生を以て國內基礎工作を進めるために、田賦穀納を實施したのであるが、この田賦穀納こそは、重慶國民政府の死活の關鍵を握るものとして、重慶國民政府は、その田賦穀納の實施に、全力を傾倒したのである。

戰時債券續出
重慶國民政府

【重慶發同盟】重慶國民政府は八月一日より十一日まで第四回國民公債、第二回建設公債、第五回國防公債、第二回金融公債、第二回救國公債、第二回同盟勝利公債、第二

（第三種郵便物認可）　昭和十七年八月四日（火曜日）　臺灣日日新報　第一万五千二百三十五號　外　（三）

敵機の胴體に直撃彈

一瞬火を吹く四發重爆

凄絶極む〝北洋の戰闘〟（上）

（略）

金屬特別回收座談會

島民の愛國心に俟つ

回收令の發動は避けたい

（略）

英靈〇〇柱

けふ午後臺北に凱旋

（略）

赫々の武勳青史に燦

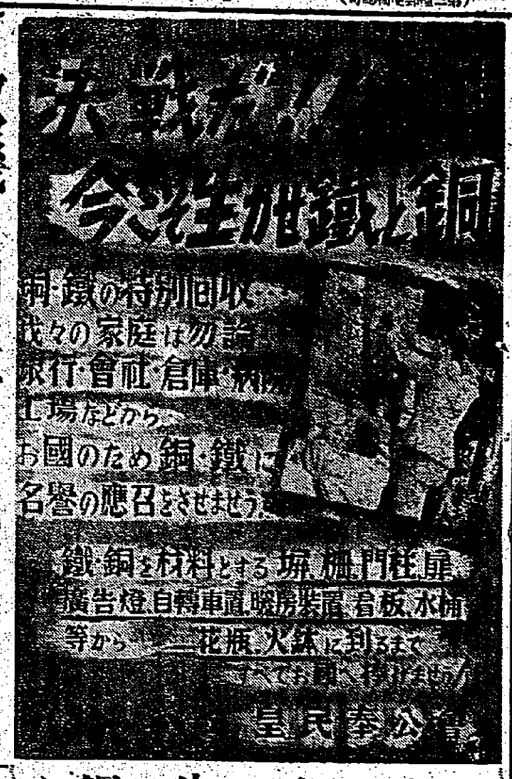
山口、池本部隊名譽の戰死者

（略）

各皇族王公族妃殿下を

日婦名譽會員に推戴

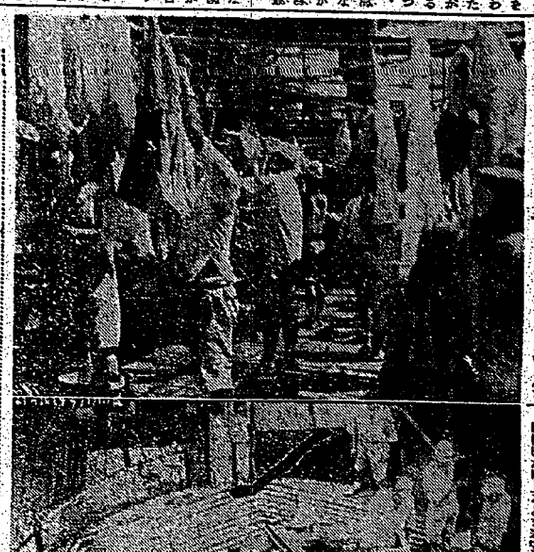
（略）



も銅の片一・釘の本一

うさ出あさだめたの國お

（略）



寫眞（上）〇〇艦上にて洗濯する海の勇士（下）〇〇船上警備の海の勇士と敵をにらむ巨砲

白衣の兵隊さんに

～電扇を贈りませう～

（略）

大詔奉戴貯金をしませう

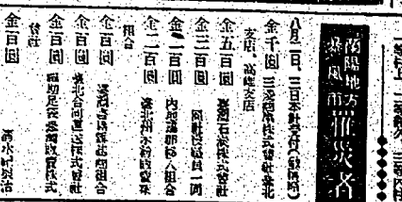
戰時貯蓄動員本部で實踐項目決定

（略）

猛暑も克服・裂帛の氣合

武道夏稽古に練を若る人

（略）



拓南戰士養成講習會

講習生募集

（略）

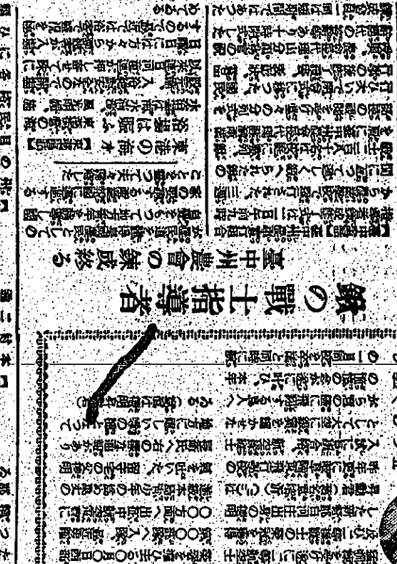
アメリカの百面相

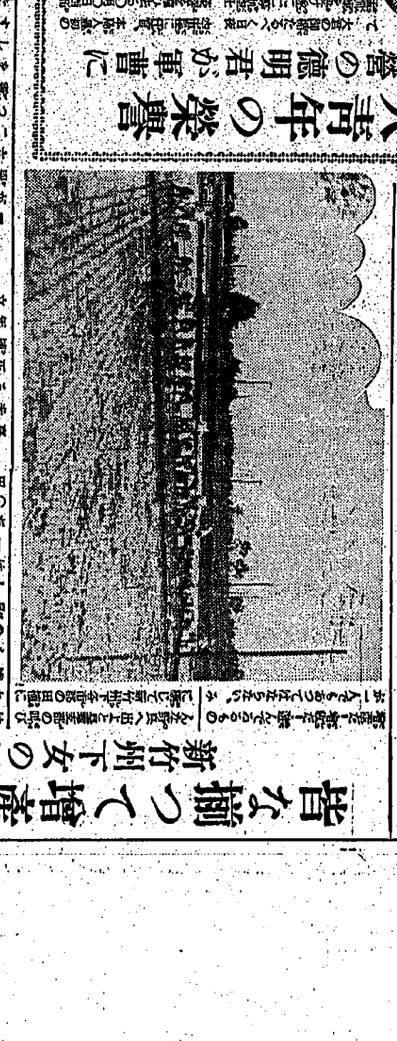
（略）

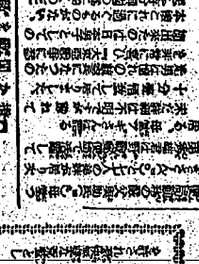
アドルビン

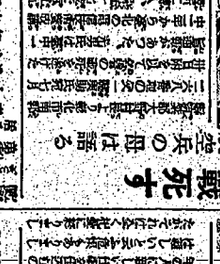
（略）

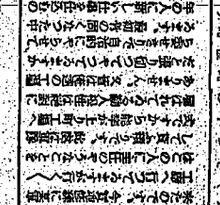
戦友に優秀兵器を
再起奉公勇士の戦闘譜
傷痍軍人製作所を訪ふ

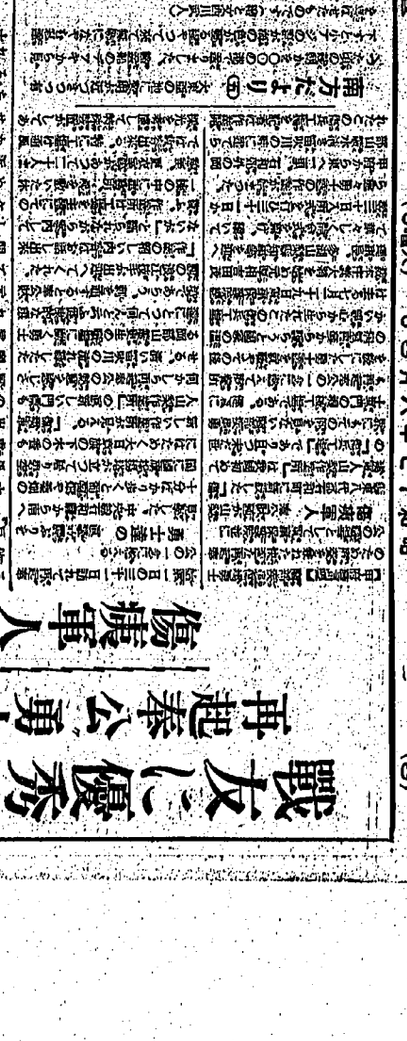


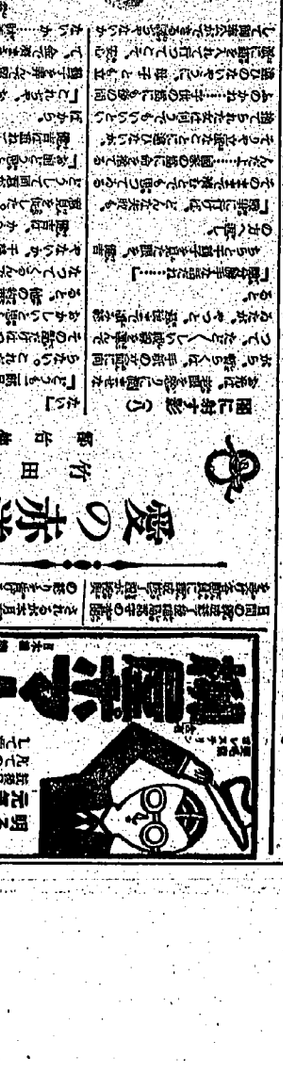
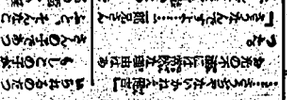
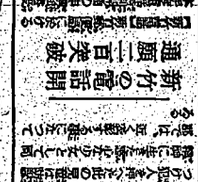
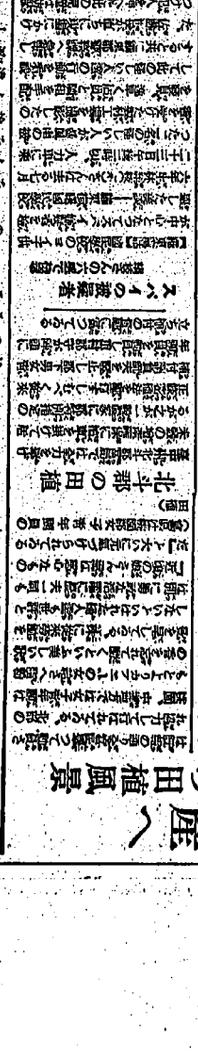










南方物資と重慶、廣東
支那大陸の重要性
廣東臺灣を語る座談會

小説・隨筆
愛の赤道（43）
竹田博一